

— 2013年度 日本草地学会山形大会 日程 —

日時	基盤教育2号館					基盤教育1号館		
	A会場 211教室	B会場 212教室	C会場 213教室	D会場 214教室	E会場 221教室	ポスター発表会場		
3月24日 (日)	9:00	受付 (基盤教育3号館 1階ホール)					ポスター展示	
	9:30					日本草地学会 評議員会		
	12:00							
	12:10	企画委員会						
	13:00	口頭発表 201-205	口頭発表 301-305	口頭発表 401-405	口頭発表 601-605			
	14:15							
	14:30					総会 学会賞授与式 受賞講演		
	18:00							
	18:30	懇親会 (厚生会館)						
	20:30							
3月25日 (月)	8:30	受付 (基盤教育3号館 1階ホール)					ポスター展示	
	8:45	口頭発表 206-213	口頭発表 306-314	口頭発表 406-414	口頭発表 101-108	シニア発表		
	9:00					優秀若手 発表賞発表		
	9:45							
	10:45							
	11:00							
	11:10	小集会1						優秀若手発表賞 審査委員会
	12:00							
	12:10							
	13:00							
	13:00							ポスター発表 偶数番号コアタイム
	14:00	企画集会						
	16:00			企画 シンポジウム3				ポスター展示
16:30	企画 シンポジウム2	企画 シンポジウム1						
18:30			小集会2					
3月26日 (火)	8:30	受付 (基盤教育3号館 1階ホール)					ポスター展示	
	9:00	小集会3	小集会4					
	11:00							
	12:00							ポスター発表 奇数番号コアタイム
	12:10	小集会5	草地学用語 委員会	国際情報担当 委員会				
13:00								

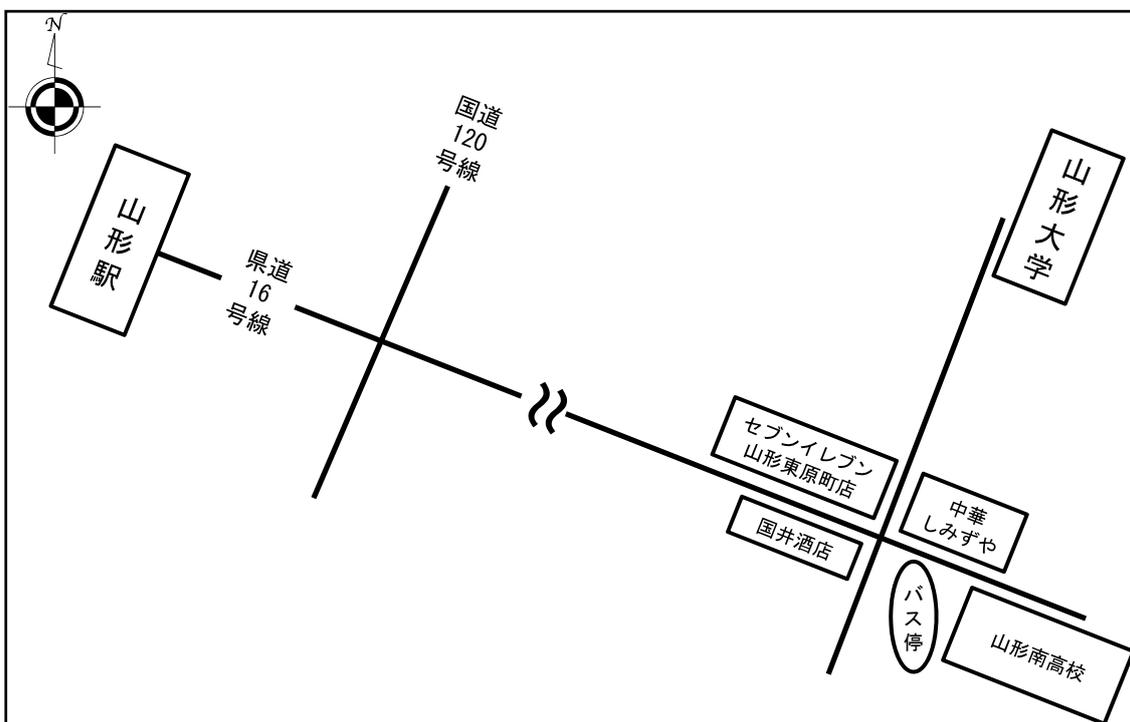
## － 山形大学 小白川キャンパスへのアクセス －

### 【 バス 】

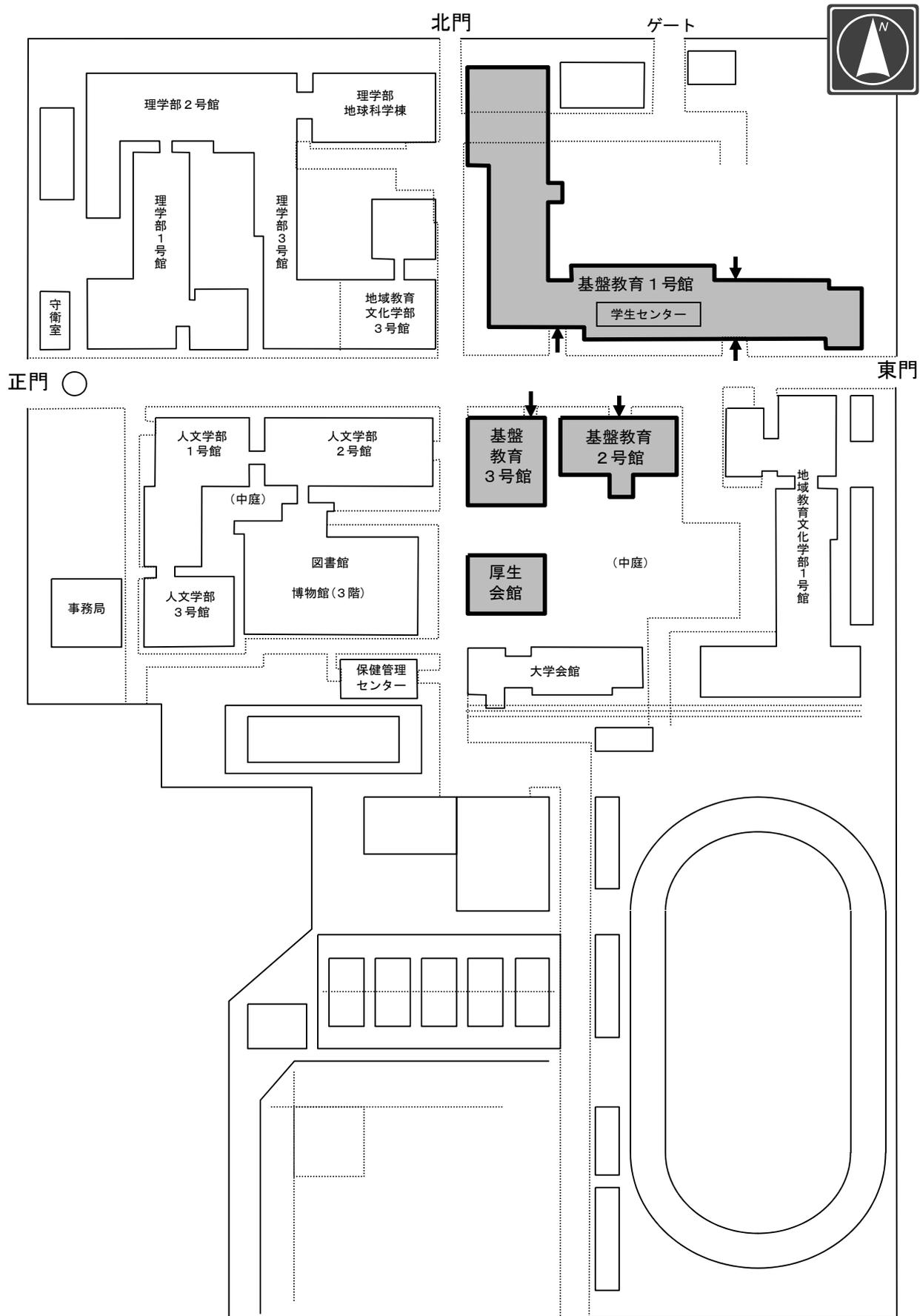
JR 山形駅から「県庁」行きバスに乗り「南高前（山大入口）」で下車（所要時間約 7 分、180 円）、そこから徒歩 5 分。

### 【 徒歩 】

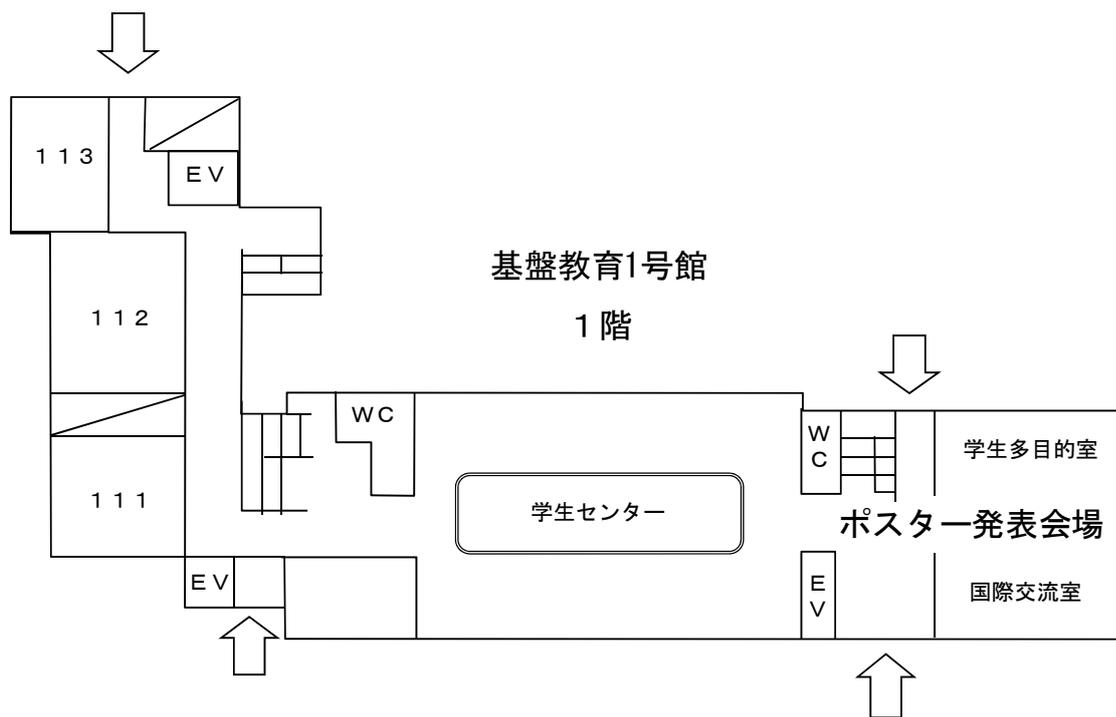
JR 山形駅前から東方に徒歩で約 20 分（約 2km）。



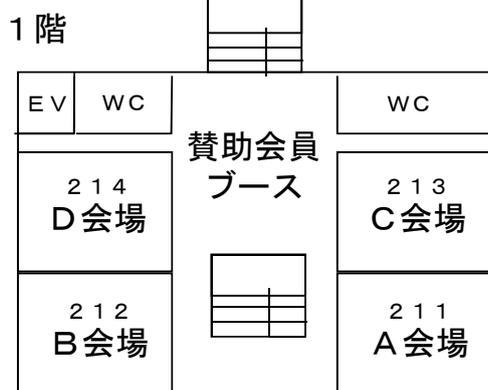
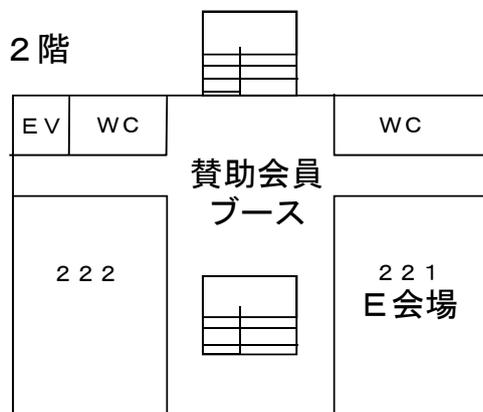
— 会場案内図 1 —



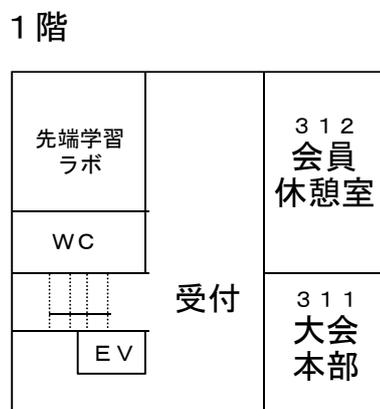
－ 会場案内図 2 －



基盤教育2号館



基盤教育3号館



# — 企画シンポジウム、企画集会、小集会のご案内 —

## 企画シンポジウム 1

### 「地域飼料資源の有効利用」

日時：3月25日（月）、16:30–18:30

場所：B会場（基盤教育2号館 212教室）

企画者：堀口健一（山形大学）

1. 粃米サイレージを利用した黒毛和種子牛育成における発酵 TMR の給与について  
丹 康之（真室川町農業協同組合）
2. 三重県の酪農経営における飼料用稲の活用例  
資源循環型酪農経営の確立に向けた酪農協の取組み事例と研究成果の概要  
山本泰也（三重県畜産研究所）
3. 地域資源を活用した高品質発酵 TMR 生産供給～（株）那須の農の取り組み～  
野中和久（畜産草地研究所）
4. 魚沼産コシヒカリで乳牛を飼う  
豪雪地域で自給飼料生産を進める魚沼市自給飼料生産組合の事例  
関 誠（新潟県農業総合研究所畜産研究センター）
5. コメンテータ：吉田宣夫（山形大学）

## 企画シンポジウム 2

### 「草地学における行動研究の発展性」

日時：3月25日（月）、16:30–18:30

場所：A会場（基盤教育2号館 211教室）

企画者：佐藤衆介（東北大学）

1. 放牧家畜の採食行動のメカニズム解明  
多様な植生下でウシはどのように植物を認識し、摂取するか？  
小倉振一郎（東北大学）
2. 放牧地での行動管理  
深澤 充（東北農業研究センター）
3. 肥育豚の行動から放牧を評価する  
戸澤あきつ（東北大学）
4. 行動から採食量を推定する  
八代田真人（岐阜大学）

## 企画シンポジウム 3

### 「草地・耕地生態系における菌根共生の生理生態と利用」

日時：3月25日（月）、14:00－16:00

場所：C会場（基盤教育2号館 213教室）

企画者：齊藤勝晴（信州大学）

1. 日本の半自然草地におけるアーバスキュラー菌根菌の多様性および動態  
小島知子（畜産草地研究所）
2. 数種暖地型牧草におけるアーバスキュラー菌根菌の菌根形成  
飛佐 学（宮崎大学）
3. アーバスキュラー菌根菌接種技術の可能性  
齊藤雅典（東北大学）
4. 被覆作物とアーバスキュラー菌根  
出口 新（東北農業研究センター）
5. 寒地畑輪作におけるアーバスキュラー菌根菌の利用可能性  
大友 量（北海道農業研究センター）
6. 飼料用トウモロコシ栽培における菌根菌活用によるリン酸減肥の可能性  
八木哲生（北海道立総合研究機構 根釧農業試験場）

## 企画集会

### 「公共牧場の活性化に向けて②東北地域の公共牧場の現状と課題」

日時：3月25日（月）、14:00－16:00

場所：A会場（基盤教育2号館 211教室）

企画者：山本嘉人（畜産草地研究所）

1. 東北地域の公共牧場の現状と課題
  - (1) 東北地域における公共牧場の現状  
伊藤雅敏（東北農政局畜産課）
  - (2) 牧場での取り組み—事例紹介—  
東山雅一（東北農業研究センター）
2. 技術紹介「あの牛を車に乗せろ」  
深澤 充（東北農業研究センター）
3. 討論

## 小集会 1

### 「Wiley 社による電子ジャーナル機能説明 - 便利な機能を御存じですか -」

日時：3月25日（月）、11:10-12:00

場所：A会場（基盤教育2号館 211教室）

企画者：小林 真（英文誌編集幹事、畜産草地研究所）

講演者：岩崎治郎（ワイリー・ジャパン）

英文誌 Grassland Science は、2013年刊行の59巻から個人会員向けの冊子体を廃止しました。英文誌に関する会員サービスの一環として「電子ジャーナルならではの」の便利な機能を紹介する。

## 小集会 2

### 「草地土壌研究の最前線 -生産から環境まで-」

日時：3月25日（月）、16:30-18:30

場所：D会場（基盤教育2号館 214教室）

企画者：松中照夫（酪農学園大学）、寶示戸雅之（北里大学）、  
三枝俊哉（根釧農業試験場）

#### 1. 北海道の草地土壌研究

松本武彦（根釧農業試験場）

#### 2. 本州の草地土壌研究

森 昭憲（畜産草地研究所）

#### 3. 沖縄県の草地土壌に基づく管理と造成に関するいくつかの技術について

川本康博（琉球大学）

## 小集会 3

### 「草地飼料畑における放射性セシウム汚染の実態と低減化を考える」

日時：3月26日（火）、9:00-11:00

場所：A会場（基盤教育2号館 211教室）

企画者：築城幹典（岩手大学）、柁村恭子（畜産草地研究所）

#### 1. 福島県川俣町の採草地におけるセシウムの分布

○塩見正衛（放送大学）、寺島一郎、福田裕穂（東京大学）

#### 2. 東北大学川渡フィールドセンターの牧草および土壌の放射性セシウムの分布状況

○齋藤雅典、小倉振一郎（東北大学）

#### 3. 牧草地における放射性セシウム動態のモデル化

○築城幹典（岩手大学）

#### 小集会 4

### 「ススキ類の多様性と利用」 (農研機構「資源作物生産」中課題研究会)

日時：3月26日(火)、9:00-11:00

場所：B会場(基盤教育2号館 212教室)

企画者：我有 満(九州沖縄農業研究センター)、山田敏彦(北海道大学)、  
奥村健治(北海道農業研究センター)

1. わが国のススキ属の種分化と分布

西脇亜也(宮崎大学)

2. 北海道を中心としたオギの分布について

眞田康治(北海道農業研究センター)

3. ススキ類の遺伝資源の収集と変異

山田敏彦(北海道大学)

4. ススキの地域分化と生物多様性

早川宗志(農業環境技術研究所)

5. 茅材利用

戸田忠祐(岩手茅葺伝承委員会)

6. バイオマス利用

小林 真(畜産草地研究所)

7. 意見交換

コメンテータ：前田金作(株式会社エコ・マテリアル バイオグリッド研究所)

#### 小集会 5

### 「日本人の英語はどこが問題か？英文校閲者からのアドバイス - Systematic view of academic authorship -」

日時：3月26日(火)、12:10-13:00

場所：A会場(基盤教育2号館 211教室)

発起者：杉山修一(日本草地学会企画委員会、弘前大学)、  
平野 清(日本草地学会若手の会、畜産草地研究所)、  
川村健介(日本草地学会若手の会、広島大学)

講演者：Brad Fast(ファーステック・ジャパン)

仙台で日本人の英語論文を20年以上校閲している経験を基に、日本人が英語で論文を書く時に注意すべき点を説明する。



口頭発表プログラム 3月24日

A会場 (基盤教育2号館 211教室)				B会場 (基盤教育2号館 212教室)			
時間	座長	2. 造成・管理・栽培		時間	座長	3. 放牧・家畜管理・行動	
13:00	加藤直樹	201	高冷地におけるソルガムの生育・収量について ○春日重光、岡部繭子、畠中 洸 (信州大)	13:00	原田久富美	301	牧草地除染プロジェクトチームの取り組みと成果について ○尾張利行、坂田 健一 (岩手県農林水産部)、茂呂勇悦、島 輝夫 (中央農改普セ)、佐藤直人、桐山直盛 (岩手農研セ)
13:15		202	NaCl処理がホウキギの生育に及ぼす影響 ○澁谷陽平、前田良之 (東農大院)	13:15		302	東北大学川渡フィールドセンターにおける草地の放射能汚染の実態 ○小倉振一郎、齋藤雅典 (東北大院)
13:30		203	暖地型および寒地型飼料資源植物の耐塩性および塩類集積能力 ○石井康之、山下彩夏 (宮崎大)、瀧野琴美 (宮崎大院)、井戸田幸子、西脇亜也 (宮崎大)	13:30		303	牧草地におけるプルシアンブルー散布による牧草への放射性セシウム吸収抑制効果の検討 ○松原敦子、井上達志、木村和彦、須田義人、小林仁、森本素子 (宮城大)、服部俊雄 (大日精化工業)
13:45	佐藤節郎	204	窒素施肥と刈取高さがシバの分けつ動態におよぼす影響 ○福山貴史 (宮崎大院)、飛佐 学 (宮崎大)、岡本侑記 (宮崎大院)、平田昌彦 (宮崎大)	13:45	小路敦	304	汚染2年目の永年草地における放射性セシウムのモニタリング ○山本嘉人、渋谷 岳、平野 清、進藤和政、梶村恭子 (畜草研)
14:00		205	農村畦畔におけるシバ植栽の検討 ○伏見昭秀、大谷一郎 (近中四農研)、長沼和夫 (ゾイシアンジャパン)	14:00		305	関東地域水田地帯における搾乳牛放牧草地の植生、生産量および利用率 ○山本嘉人 (畜草研)、岡崎泰裕 (九沖農研)、中野美和、的場和弘 (畜草研)、上野 裕 (上野牧場)

口頭発表は講演時間12分、質疑応答3分（一鈴：10分、二鈴：12分、三鈴：14分30秒）です。時間厳守でお願いします。また、プロジェクターが不調の場合には、講演要旨を用いて発表してください。

口頭発表プログラム 3月24日

C会場 (基盤教育2号館 213教室)			D会場 (基盤教育2号館 214教室)		
時間	座長	4. 飼料調製加工・貯蔵・利用	時間	座長	6. 育種
13:00	蔡 義 民	401 中国におけるバンカーサイロの実態調査ーコーンストローおよびホールクロップコーンサイレージの発酵特性と細菌フローラ ○韓 紅燕(岡山大院)、王 超(三重大)、許 慶方(山西農業大)、玉 柱(中国農業大)、○西野直樹(岡山大院)	13:00	秋 山 征 夫	601 ペレニアルライグラスの越冬性向上に有用なメドウフェスク由来ゲノム領域の探索 ○田村健一、田瀬和浩、眞田康治(北農研)、小松敏憲(農林水産・食品産業技術振興協会)、久保田明人(東北農研)
13:15		402 ベトナム・フエで調製したエレファントグラスサイレージの発酵特性と細菌フローラ予乾および乳酸菌添加による酢酸発酵の抑制ー Tran Thi Minh Tu、尾形 友、韓 紅燕(岡山大院)、Nguyen Huu Van(Hue大)、○西野直樹(岡山大院)	13:15		602 シロイヌナズナ由来DREB1A遺伝子を導入した遺伝子組換えバヒアグラスにおける乾燥ストレス耐性の評価 ○権藤崇裕、田中克佳、地下千裕、石垣元気(宮崎大、氷室泰代(理研)、篠崎和子、末永一博(国際農研)、明石 良(宮崎大)
13:30		403 マラウイ・ブンブエ地域において調製した野草サイレージおよびTMRサイレージの化学成分含量と発酵性状 ○河合正人、宗像卓朗、村中拓也、手塚雅文、谷 昌幸帯、岸本 正、耕野拓一、大山美砂子、小崎 浩(帯畜大)	13:30		603 重イオンビーム欠失変異体によるアポミクシス遺伝子領域のマッピング ○高原 学、蝦名真澄(畜草研)、森田竜平、風間裕介、阿部知子(理研)、高溝 正(畜草研)、中川 仁(国際農研)
13:45	井 上 秀 彦	404 可変径式TMR成形密封装置の食品製造副産物への適応性拡大 ○川出哲生、橋 保宏(生研セ)	13:45	藤 森 雅 博	604 ソルガム在来種における新規waxy遺伝子アレル ○川東広幸、大嶋雅夫、西川智太郎(生資研)、春日重光(信州大)、奥泉久人、米丸淳一(生資研)
14:00		405 ベールラッパ油圧によるロールベール計量手法の開発 第2報 ○喜田環樹、浦川修司、松尾守展(畜草研)	14:00		605 ソルガムxスーダングラス集団の再生性QTL qRG7の検証 ○米丸淳一(生資研)、春日重光(信州大)

口頭発表は講演時間12分、質疑応答3分(一鈴:10分、二鈴:12分、三鈴:14分30秒)です。時間厳守をお願いします。また、プロジェクターが不調の場合には、講演要旨を用いて発表してください。

口頭発表プログラム 3月25日

A会場 (基盤教育2号館 211教室)				B会場 (基盤教育2号館 212教室)			
時間	座長	2. 造成・管理・栽培		時間	座長	3. 放牧・家畜管理・行動	
8:45	森田聡一郎	206	水田の飼料用稲麦二毛作体系における作業・収益シミュレーションモデルの試作 ○松尾守展、浦川修司、喜田環樹、恒川磯雄(畜草研)	8:45	村恭子	306	放牧牛乳生産に及ぼす育成時の放牧の影響 ○八木隆徳、秋山典昭、上田靖子、渡邊也恭、朝隈貞樹、安藤 哲、高橋 俊(北農研)
9:00		207	飼料用ダイズのリビングマルチ栽培における被覆植生の生育制御 ○魚住 順、出口 新、内野 宙、河本英憲、嶮野英子(東北農研)	9:00		307	サイレージ補助飼料無しの放牧飼養が乳牛の乳量・乳成分に及ぼす影響 ○渡辺也恭、八木隆徳、上田靖子、朝隈貞樹、安藤 哲、坂上清一、秋山典昭(北農研)
9:15		208	飼料用大豆の耐倒伏性・収量性に及ぼす品種と気象条件の影響 ○内野 宙、魚住 順、嶮野英子、河本英憲、出口 新(東北農業研究センター)	9:15		308	コーンサイレージおよび濃厚飼料の補給量が夏季および秋季の放牧泌乳牛の食草量および乳生産に及ぼす影響 ○上田宏一郎、三谷朋広(北大院)、高橋 誠、近藤誠司(北大FSC)
9:30	菅野勉	209	飼料用トウモロコシ畑への牛糞堆肥表面施用による化学肥料の減肥が収量に及ぼす影響 ○川島千帆、堀田 努、塚本孝志、大西一光、谷 昌幸、木田克弥、日高 智(帯畜大)	9:30	東山雅一	309	3Dデジタルカメラによる牛体計測手法 ○喜田環樹、手島茂樹(畜草研)、永井武史、堀澤 純、長澤泰子(群馬県浅間家畜育成牧場)
9:45		210	サイレージ用トウモロコシの最適播種ピッチ ○東 政則(宮崎畜試)	9:45		310	ウシはパッチ選択において2段階の識別を行う ○平田昌彦、田尻ゆう子、村上 梢、池田和樹、岡 加那子、飛佐 学(宮崎大)
10:00		211	イタリアンライグラス晩生品種のオーバーシーディングによるバヒアグラス草地の春雑草抑制効果 ○山田明央、金子 真、中村好徳(九沖農研)	10:00		311	ウシは視覚的手がかりと餌報酬との関連付けを1年間維持する ○平田昌彦、竹野 希、泉 真哉、久保翔太郎(宮崎大)
10:15	金子真	212	寒地における夏季播種が多年生牧草の収量等に及ぼす影響 ○奥村健治、高田寛之、廣井清貞(北農研)	10:15	的場和弘	312	飼料の垂直分布がウシの摂食行動に及ぼす影響 ○小倉振一郎(東北大院)、富松 元(国立環境研)、佐藤和也、山本理恵、田中繁史(東北大院)
10:30		213	低温期の伸長が期待される牧草の寒地型牧草地への簡易導入の可能性 ○小路 敦(北農研)	10:30		313	繋ぎ飼い牛舎での乳牛による負傷事故の調査分析 ○志藤博克、積 栄、岡田俊輔(生研セ)、高橋圭二(酪農学園大)、長命洋佑(京大)
10:45				10:45		314	放し飼い牛舎での乳牛による負傷事故の調査分析 ○志藤博克、積 栄、岡田俊輔(生研セ)、高橋圭二(酪農学園大)、長命洋佑(京大)

口頭発表は講演時間12分、質疑応答3分(一鈴:10分、二鈴:12分、三鈴:14分30秒)です。時間厳守でお願いします。また、プロジェクターが不調の場合には、講演要旨を用いて発表してください。

口頭発表プログラム 3月25日

C会場 (基盤教育2号館 213教室)				D会場 (基盤教育2号館 214教室)			
時間	座長	4. 飼料調製加工・貯蔵・利用		時間	座長	1. 草地生態・システム分析・緑地環境	
8:45	松山裕城	406	スイギユウによる暖地型イネ科牧草の消化性能 ○時田昇臣、白坂明規(日獣大)、W. Thiangtum(カセサート大)、川本康博(琉球大)	8:45	大谷一郎		
9:00		407	稲WCS主体TMRを発酵した飼料給与は生乳の抗酸化能を高める ○小橋有里、関 誠、宮腰雄一(新潟農総研)	9:00		101	寒地型牧草の肥料木・庇陰樹としてのネムノキの特性評価ー樹冠内外のオーチャードグラスの生育特性の差違ー ○福田栄紀(東北農研)
9:15		408	収穫機および品種の異なる稲WCSの栄養価 ○関 誠、小橋有里、宮腰雄一(新潟農総研)	9:15		102	センチピードグラス被覆に影響を及ぼす植物種の傾向 ○平野 清、北川美弥(畜草研)、西田智子(農環研)、池田堅太郎(東北農研)、進藤和政、山本嘉人(畜草研)
9:30	野中和久	409	高水分牧草サイレージの発酵品質と栄養価の関係 ○北村 亨、本間 満、篠田英史、川越大樹、清水 友(雪印種苗)	9:30	103	外来牧草の侵入・優占に対するシバ型草地の抵抗性に及ぼす在来植物の損失の影響 ○西脇亜也、田島有貴(宮崎大)	
9:45		410	有機酸を活用した未乾燥飼料用米の保存技術 ○佐々木敬之、藤井清和、東井滋能(京都農水技セ)	9:45	104	有機的管理の肉牛生産牧場における窒素フロー ○寶示戸雅之、足立陽子、小野 泰、小笠原英毅、畔柳 正(北里大)	
10:00		411	飼料用玄米の混合割合および貯蔵時期が発酵TMRの発酵品質に及ぼす影響 ○中村真貴(富山農水総技セ)、金谷千津子(富山県農業技術課)、高平寧子、廣瀬富雄、天野宏志(富山農水総技セ)	10:00	105	霧乗則を用いた植生の空間解析：異なる区画面積への出現頻度 ○塩見正衛(放送大)、山村靖夫(茨城大)、陳 俊(西北農林科技大)	
10:15	花田正明	412	竹サイレージの発酵品質および栄養価と牛への給与 ○西村慶子、鍋西 久、中武好美(宮崎畜試)	10:15	106	べき乗則による草地植生の解析：異なる区画面積への出現種数 陳 俊(西北農林科技大)、山村靖夫(茨城大)、○塩見正衛(放送大)	
10:30		413	施肥および調製方法の違いが稲わらの飼料一般成分とDCAD値に及ぼす影響 ○金 錫九(岩手大院)、吉田宣夫、堀口健一高橋 敏能(山形大)、甘利雅弘(畜草研)	10:30	107	ウシの放牧による植生構造の変化がハタネズミの生息環境に与える要因究明 ○岡田美耶、吉原 佑、佐藤衆介(東北大院)	
10:45		414	ジャトロファ油粕給与時のヒツジの肝機能に及ぼす影響 ○呂 仁龍、堀口健一、吉田宣夫、高橋敏能(山形大)、田川伸一(清水港飼料)、市原昭一(住友商事東北)	10:45	108	ニホンジカによる牧草被害の簡易測定法 ○塚田英晴、喜田環樹、北川美弥(畜草研)、須山哲男、清水矩宏(神津牧場)	

口頭発表は講演時間12分、質疑応答3分(一鈴：10分、二鈴：12分、三鈴：14分30秒)です。時間厳守でお願いします。また、プロジェクターが不調の場合には、講演要旨を用いて発表してください。

口頭発表プログラム 3月25日

E会場 (基盤教育2号館 221教室)

時間	座長	シニア発表	
8:45	雑賀 優	S01	積雪地域の小頭数ヤギ飼育における越冬飼料の確保 ○今井明夫 (全国山羊ネットワーク)
9:00		S02	フォレンジテストシステムの新展開 ○甘利雅弘 (畜草研)、岡野和夫 (日本草地畜産種子協会)
9:15		S03	ライグラスストローと稲わらを肥育牛へ給与した場合の生産性比較 ○櫛田光男、村山義幸 (キロサ肉畜生産セ)、雑賀 優 (岩手大)
9:30		S04	アメリカからの乾牧草輸入における最近の情勢 ○木村 利昭、木村 昭彦 (アギーテック)、雑賀 優 (岩手大)

時間	座長	優秀若手発表賞発表	
10:15	河本英憲	Y01	温暖化ストレスに対するオーチャードグラスの集団分化 ○中野敬護、杉山修一 (弘前大)
10:30		Y02	面積割合の異なる牧草・ササ混合草地における黒毛和種繁殖牛の飼料選択 ○水野希海、木村 元、八代田真人、大谷 滋 (岐阜大院)
10:45		Y03	サーモグラフィを利用したロールバールサイレージの品質管理技術の開発 ○川村淳也、山本泰也 (三重畜研)、苅田修一、近藤 誠 (三重大)、平岡啓司 (三重中央農改普セ)

口頭発表は講演時間12分、質疑応答3分（一鈴：10分、二鈴：12分、三鈴：14分30秒）です。時間厳守をお願いします。また、プロジェクターが不調の場合には、講演要旨を用いて発表してください。

ポスター発表 (基盤教育1号館)

偶数番号コアタイム : 3月25日 13:00~14:00、奇数番号コアタイム : 3月26日 11:00~12:00

1. 草地生態・システム分析・緑地環境

P01	牧草中放射性セシウム濃度の空間変動と季節変化 ○築城幹典、永田悠介、江口沙綾、前田武己 (岩手大)
P02	牧草地における放射性セシウム動態のモデル化 ○築城幹典、江口沙綾、永田悠介、前田武己 (岩手大)
P03	牧草地における空間放射線量率分布の経年変化 ○江口沙綾、築城幹典、永田悠介、前田武己 (岩手大)
P04	牧草地における空間放射線量率の簡易測定法の検討 ○江口沙綾 (岩手大)、増田隆晴 (岩手大院)、築城幹典、永田悠介、前田武己 (岩手大)
P05	トウモロコシ単葉のハイパースペクトルデータとミネラル含有成分の関係 ○中坪あゆみ、田中勝千、杉浦俊弘、(北里大)
P06	メンヨウを放牧している野草地における草量と植物種組成の空間的変動 ○岡本智伸、栴田聖孝、プラダンラジブ、伊藤秀一 (東海大)

2. 造成・管理・栽培

P07	泥炭土における荒廃した放牧地の植生改善—追播草種が改善効果に及ぼす影響— ○義平大樹、小阪進一 (酪農学園大)、龍前直紀 (雪印種苗)
P08	泥炭土における荒廃した放牧地の植生改善—既存優占雑草が改善効果に及ぼす影響— ○義平大樹、小阪進一 (酪農学園大)、龍前直紀 (雪印種苗)
P09	庇蔭および放牧条件におけるセントオーガスチングラスの生育と施肥の効果 ○大谷一郎、高橋佳孝、堤 道生 (近中四農研)
P10	北海道の放棄牧草地に自然成立したススキ草地の地上部現存量 ○小路 敦、奥村健治、真田康治、田村健一 (北農研)
P11	天北地方の鈹質土草地における「イタリアンライグラスを用いた無除草剤更新技術」の適用性 ○岡元英樹、古館明洋、吉澤晃、大橋優二 (道総研天北支場)、 内田幸司 (留萌農改北留萌支所)、雲 義美 (宗谷農改宗谷北部支所)、谷口智哉 (JA幌延町)
P12	ヤギ糞を用いた簡易造成法の検討 ○大竹秀男、櫻井拓郎 (宮城大)
P13	収集したノシバ系統のアレロパシー活性 ○古屋雅司、高野 浩、佐藤克昭、片山信也 (静岡畜技研)
P14	異なる施肥条件下における数種Sorghum属の生産性と成分変動 ○今井裕理子 (鹿児島大院)、加藤 翔、江越喜彦 (琉球大)、Yin Yin Kyawt、 Thaikua Sarayut (鹿児島大院)、Win Mi Htwe、川本康博 (琉球大)
P15	高糖含量オーチャードグラスの兼用利用特性 (1) ○梅村和弘、秋山典昭、真田康治 (北農研)

ポスター発表者は指定されたコアタイムにポスターの前で待機し、説明してください。

## ポスター発表（基盤教育1号館）

偶数番号コアタイム： 3月25日 13:00～14:00、奇数番号コアタイム： 3月26日 11:00～12:00

### 2. 造成・管理・栽培

P16	北海道におけるセルロース系バイオマス作物の収量性と成分 ○眞田康治、田村健一、田瀬和浩（北農研）
P17	水田圃場の緩傾斜化によるオオムギ栽培時の排水改善効果と後作の飼料用イネの生育に及ぼす影響 ○加藤直樹、小荒井 晃、服部育男、山田明央、岡崎泰裕（九沖農研）
P18	飼料用トウモロコシを基幹作物とした九州北部向け飼料輪作2年5作体系の検討 ○加藤直樹（九沖農研）、原田直人（鹿児島農総開セ）、服部育男、桂 真昭、村木正則、山田明央（九沖農研）
P19	飼料用トウモロコシの不耕起栽培における雑草消長と除草剤使用法の検討 ○森田聡一郎、佐藤節郎、菅野 勉（畜草研）
P20	冬作イタリアンライグラス後の飼料用トウモロコシ畝立て播種に関する現地実証試験 ○菅野 勉、森田聡一郎、佐藤節郎（畜草研）
P21	3水準の放射性セシウム濃度のポット土壌で栽培されたサイレージ用トウモロコシへの放射性セシウムの移行 ○菅野 勉、原田久富美、森田聡一郎、佐藤節郎、渋谷 岳（畜草研）
P22	オーチャードグラスとトールフェスクにおける放射性セシウム移行の比較 ○柘村恭子、内山和宏、的場和弘、山本嘉人、渋谷 岳（畜草研）
P23	短期利用飼料作物における放射性セシウムの土壌から植物体への移行および収量性 ○佐々木 亨（日本草地畜産種子協会）
P24	重金属添加濃度が暖地型イネ科牧草の種子発芽率および根の伸長に及ぼす影響 ○水町 進（琉球大）、Win Mi Htwe（鹿児島大院）、川本康博（琉球大）

### 3. 放牧・家畜管理・行動

P25	放牧草地の家畜生産に及ぼす草種と施肥量の影響（利用1年目） ○東山雅一（東北農研）
P26	肉専用種肥育牛の輪換放牧における折れ線回帰モデルを用いた必要草量推定の試み ○金子 真、中村好徳、山田明央、林 義朗（九沖農研）
P27	放牧地の植物種多様性が放牧反すう家畜のルーメン環境に及ぼす影響 ○水野速人（東北大院）、中野美和、遠野雅徳（畜草研）、木村和彦（宮城大）、小倉振一郎（東北大院）
P28	冬季の搾乳牛放牧による乳生産と乳中 $\beta$ -カロテン ○的場和弘、山本嘉人、中野美和、平野 清、進藤和政、柘村恭子（畜草研）
P29	ヒツジおよびヤギの食草行動におけるバイト位置の選択が採食速度に及ぼす影響 ○八代田真人、川田里絵、佛淵麻衣、谷 幸宗、大谷 滋（岐阜大）
P30	追播処理放牧地における放牧強度の違いが肉用繁殖雌牛の採食場所およびバイト速度に及ぼす影響 ○中辻浩喜、塩住真央、早川 暉、外山美佳、奥山杜夢、義平大樹、小阪進一（酪農学園大）

ポスター発表者は指定されたコアタイムにポスターの前で待機し、説明してください。

## ポスター発表（基盤教育1号館）

偶数番号コアタイム： 3月25日 13:00～14:00、奇数番号コアタイム： 3月26日 11:00～12:00

### 3. 放牧・家畜管理・行動

P31	中国青海省チベット高原南部におけるヤク ( <i>Bos grunniens</i> ) の暖季と寒季の行動の変化 ○長谷川信美 (宮崎大)、宋 仁徳 (青海省玉樹蔵族自治州畜牧獣医セ)、 李 国梅 (青海省玉樹蔵族自治州草地セ)、井戸田幸子、楊 家華 (宮崎大院)、 曹 旭敏 (中国動物衛生与流行病学中心)、福田 明 (静岡大院)
P32	モンゴル国中北部森林ステップおよびステップ帯における土地利用と放牧圧の地図化 ○松本武司 (国際農研)、Tuvshinbayar Danzan (モンゴル大)、平野 聡、山崎正史 (国際農研)
P33	モンゴル国南ゴビ地域の冬季における放牧技術 ○松田朗海 (岩手大院)、中村 洋 (地球・人間環境フォーラム)、 D.Rinchindorji (モンゴル農業大)、岡安智生、大黒俊哉 (東大院)、高橋敏能、堀口健一、 吉田宣夫 (山形大)

### 4. 飼料調製加工・貯蔵・利用

P34	近赤外分光分析によるライムギサイレージの乾物率、pHおよびVBN/T-N値の非破壊評価法 ○江口研太郎、宮地 慎、松山裕城 (畜草研)、荒木利幸 (宮城畜試)、服部育男 (九沖農研)、 野中和久 (畜草研)
P35	スタックサイロを用いた生稲わらサイレージの調製と発酵品質 ○蔡 義民 (国際農研)、Viengsakoun Napasirth (Laos大)、Arun Phromloungr、 Chatchai Kaewpila (Khon Kaen大)、大森英之 (畜草研)、Kritapon Sommart (Khon Kaen大)
P36	排水不良な耕作放棄水田におけるフェストロリウム新品種「東北1号」の収量性および飼料成分 ○嶮野英子、魚住 順、出口 新 (東北農研)
P37	大豆ホールクロップサイレージの刈取り時期が消化率とルーメン内発酵に及ぼす影響 ○河本英憲、嶮野英子、内野 宙、魚住 順 (東北農研)
P38	飼料用玄米サイレージの破碎方法および発酵品質の検討 ○井上秀彦、松尾守展、上垣隆一、遠野雅徳 (畜草研)、市橋沙菜、大東雅英、 今川和孝 (大竹製作所)、浦川修司、伊吹俊彦 (畜草研)
P39	ヘテロ型乳酸菌の添加が飼料用籾米の貯蔵性に及ぼす影響 ○野中和久、松尾守展 (畜草研)、服部育男 (九沖農研)、上垣隆一 (畜草研)
P40	バイオマス資源作物の高位発熱量の推定と草種間差異 ○服部育男、我有 満、加藤直樹、上床修弘 (九沖農研)
P41	アンスロン法による可溶性炭水化物 (WSC) 測定の推奨条件 (その2) ～抽出条件が多糖類溶出に及ぼす影響と方法の提案～ ○篠田英史 (雪印種苗)、出口健三郎 (道総研畜試)、増子孝義 (東農大)
P42	普通コンバインを利用した高品質イアコーンの収穫調製作業体系 ○根本英子、大下友子、青木康浩、上田靖子、青木真理 (北農研)、 中西雅昭 (パイオニアハイブレッッドジャパン)、工藤 満 (北海道クボタ)、 酒匂 桂 (ビコンジャパン)
P43	コンバイン収穫した高品質イアコーンの飼料成分組成と発酵品質 ○大下友子、根本英子、青木康浩、青木真理、上田靖子 (北農研)、工藤 満 (北海道クボタ)、 滑川拓朗 (家畜改良セ)

ポスター発表者は指定されたコアタイムにポスターの前で待機し、説明してください。

## ポスター発表（基盤教育1号館）

偶数番号コアタイム： 3月25日 13:00～14:00、奇数番号コアタイム： 3月26日 11:00～12:00

### 4. 飼料調製加工・貯蔵・利用

P44	セタリアサイレージの発酵に伴うシュウ酸の分解 ○新美光弘、武 嘉明、Mohammad Mijanur Rhaman、福山喜一、川村 修（宮崎大）
P45	肥育豚に対するイヤコーンおよびポテトプロテインの給与効果 ○花田正明、熊井裕基、日高 智（帯畜大）
P46	発酵TMRの開封後の好気的変敗抑制に及ぼす各種要因 ○内田 豪、堀口健一、吉田宣夫、高橋敏能（山形大）

### 5. 生理・形態・病理・昆虫

P47	水耕液のpHがアルファルファ根系のフラクタル次元とラクナリティーに及ぼす影響 ○廣瀬大介（南九州大）
P48	トウモロコシ赤かび病発病度とフモニシン濃度の関係およびトウモロコシ苗葉身での簡易抵抗性検定法 ○月星隆雄、上垣隆一、増中 章（畜草研）
P49	包葉および子実の損傷が飼料用トウモロコシの赤かび病抵抗性に与える影響 ○岡部郁子（畜草研）、三木一嘉（長野畜試）、増中 章、月星隆雄（畜草研）

### 6. 育種

P50	アルファルファ新系統「北海5、6号」の播種3年目の特性 ○廣井清貞、奥村健治（北農研）
P51	リードカナリーグラスにおける5Sおよび45S rDNAのマッピング ○秋山征夫（東北農研）、木村健智（長岡技科大）、久保田明人、藤森雅博（東北農研）、高原美規（長岡技科大）、上山泰史（近中四農研）
P52	Lolium属の温湯除雄法確立のための温度処理条件の検討（予報） ○清 多佳子（畜草研）、米丸淳一（生資研）、荒川 明、内山和宏、水野和彦（畜草研）
P53	フェストロリウムの単交配後代におけるフェスクゲノム割合（f値）の変異幅 ○久保田明人、秋山征夫、藤森雅博（東北農研）、清 多佳子（畜草研）
P54	ペレニアルライグラスを戻し交雑した新規フェストロリウム系統の耐暑性 ○藤森雅博、秋山征夫、久保田明人（東北農研）
P55	飼料用トウモロコシにおける根腐病発生の年次間差及び圃場検定方法の比較 ○三ツ橋昇平、月星隆雄（畜草研）、黄川田智洋（北農研）、増中 章（畜草研）、菅原幸哉（東北農研）、玉置宏之、佐藤 尚（畜草研）

### 7. 土壌・肥料

P56	中国青海省南部高原のクチグロナキウサギ（ <i>Ochotona curzoniae</i> ）生息地における土壌化学性 ○井戸田幸子（宮崎大）、楊 家華（宮崎大院）、飛佐 学（宮崎大）、李 国梅（青海省玉樹蔵族自治州草地セ）、宋 仁徳（青海省玉樹蔵族自治州畜牧獣医セ）、長谷川信美、多炭雅博、山本直之、石井康之（宮崎大）
-----	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

ポスター発表者は指定されたコアタイムにポスターの前で待機し、説明してください。

ポスター発表 (基盤教育1号館)

偶数番号コアタイム : 3月25日 13:00~14:00、奇数番号コアタイム : 3月26日 11:00~12:00

7. 土壌・肥料

P57	オーチャードグラス草地におけるカリ施肥と放射性セシウム吸収の関係 ○齋藤勝晴 (信州大)
P58	暫定許容値を超えるレベルの放射性セシウムを含む堆肥を施用した場合の飼料用トウモロコシへの移行程度 ○原田久富美、天羽弘一、阿部佳之、小島陽一郎、須永義人、川地太兵 (畜草研)
P59	飼料用トウモロコシイタリアンライグラス二毛作における放射性Cs移行を抑制するための土壌交換性カリ含量 ○原田久富美、須永義人、川地太兵 (畜草研)
P60	土壌の可給態窒素量に基づく飼料用トウモロコシの窒素施肥管理 ○須永義人、原田久富美、川地太兵 (畜草研)
P61	数種暖地型マメ科牧草の生育とアーバスキュラー菌根菌の菌根形成 ○飛佐 学、三牧成生、平田昌彦 (宮崎大)
P62	吸引通気式堆肥化システムから回収された硫安液肥の水口施用が水稻の生育および収量に与える影響 ○森田昌孝 (岩手大院)、吉田宣夫、堀口健一、高橋敏能 (山形大)
P63	放牧地における効率的な施肥管理のための窒素施肥量 ○山田大吾 (畜草研)
P64	堆肥散布が草地土壌の脱窒酵素活性に及ぼす影響 ○森 昭憲 (畜草研)

ポスター発表者は指定されたコアタイムにポスターの前で待機し、説明してください。